

その他の行政

Q ふるさと納税額の推移は



民法 正則 議員

A 〈町長・総務部長〉

今年度は大きく増加した。今後も町の魅力をPRしたい。

〔Q1〕 ふるさと納税は、昨年4月から申請手続きが簡単になり、全自治体を対象とする寄付総額は増加している。本町のご数年の推移は、どのような状況か。

〔A1〕 平成20年度から5年間は低迷していたが、平成25年度61万円、平成26年度219万円、今年度は現時点で、200件、900万円と大きく増加した。

〔Q2〕 継続して応援してもらうためには、返礼品の充実が必要ではないか。

〔A2〕 女性職員を中心としたふるさと納税の推進チームで引き続き検討を進めていく。

〔Q3〕 インターネットサービスなどを活用し、クレジット納付など納税環境の整備をしてはどうか。

〔A3〕 導入に要する経費が高く、手数料などの課題から困難である。

〔Q4〕 町民の中には、他の自治体へふるさと納税をしている方がいると思うが、それによる町民税への影響はどのぐらいか。

〔A4〕 平成26年中のふるさと納税額は117万8千円で、町民税の減少額は45万9千円であった。



▲ ふるさと納税の返礼品

Q 〈民法 正則 議員〉

マイナンバーの現状は

A 〈町長・民生部長〉

個人番号の事務には、細心の注意をはらっており、住民にも注意喚起を行う。

〔Q1〕 マイナンバー通知カードの返送状況とその対処は。

〔A1〕 本町へ861通返送され、2月末の保管数は、307通である。

〔Q2〕 受け取りのないカードの保管期限とそれを処分する場合の方法は。

〔A2〕 通常は3カ月の保管期間であるが、本町では12月まで保管し、その後適切に廃棄する。

〔Q3〕 マイナンバーカードの交付を受けた場合のメリット、デメリットは。

〔A3〕 写真付きの身分証明や来年からの確定申告に利用できる。

〔Q4〕 マイナンバーカードの申請件数と交付件数は。

〔A4〕 2月末時点で、申請件数969件、交付件数が275件である。

〔Q5〕 マイナンバーは、今後どのような行政手続きにおいて必要となるのか。

〔A5〕 確定申告や健康保険の加入時、児童手当の給付等で記入が必要となる。また、勤務先や取引先などへ提出する場合もある。



▲ マイナンバーカード

農業施策などの先進地を調査

2月9・10日の2日間、産業建設委員会が、所管事務調査のため、宮崎県高良町（たかはるちょう）などを訪問しました。

『付加価値の高い農業施策』

現在の農業は、農業者の高齢化による担い手不足や農業経営の悪化などが課題となっています。このような中で、高良町では、農業法人を中心に、農業者自らが、地元でとれた農林畜産物で加工品を開発し、販売まで手掛ける「6次産業化」に取り組んでおり、成功を納めています。

『皇子原公園のヒガンバナ』

高良町観光協会では、平成10年から町内の有志と連携し、皇子原（おうじばる）神社の周辺約3・5ヘクタールにヒガンバナを植栽されました。



▲ 一面に広がるヒガンバナ

毎年、秋分の日にはヒガンバナ祭りが開催され、多くの人々が来場し、真っ赤なヒガンバナがにぎわいを創出しており、地域活性化の一翼を担っています。

多くの議員が研修に参加

2月19日、「広島県町議会議員研修会」が開催されました。



▲ 熱心に耳を傾ける議員

午前は、広報コンサルタントの芳野政明氏による広報紙クリニックを受けました。このクリニックでは、「くまの議会だより」についても、評価をいただきました。



▲ 丁寧に指導くださる芳野先生

また、午後からは、「政治の行方を読む」と題して、時事通信仙台支社長（元政治部長）山田恵資氏の講演を聞き多くのことを学びました。

熊野高校卒業作品展を観賞

2月19日、多くの議員が県立美術館で開催中の熊野高校卒業作品展を観賞しました。



▲ 力強さを醸し出す作品

力作とはこれらを指しているのだろう。壁いっぱい展示された作品のいずれもが、たゆまぬ努力と風土のなかで育まれ繊細と力強さをももっています。

それは、応対する生徒さんの姿でもあり、地元高校が芸術類型を強く推進する結果の表れに強く感銘を受けました。



▲ 作品の説明してくれる生徒さん

